

KIRIN "KIZUNA" KUMAMOTO DAYORI

キリン 純 熊本だより

2016.October Vol.01

KIRIN

「一番搾り 熊本づくり」
全国発売記念
出荷式



「熊本を応援したい」の声を受けて全国発売

キリンビールマーケティング株式会社
熊本支社長 麻生 芳彦



「一番搾り 熊本づくり」をつくるにあたり、熊本が大好きで熊本に精通している11名の方々にご参加いただき、共創ワークショップを開催しました。そこで決定した、「よか仲間どうまかもん。飲んでも飽きさせない“攻め”的ビール。さしより一番搾りば!!!」という商品コンセプトをもとに、熊本県産米と九州産麦芽を使用して作り上げました。飲みやすくすっきりした味わいと火の国をイメージした赤色が特長です。7月の発売以降、全国から「一番搾り 熊本づくり」を買って飲んで熊本の復興を応援したい、との声を多くいただき、今回の全国発売の運びとなりました。

全国発売にあたっては、売上げ1本につき10円を熊本の復興支援に拠出させていただきます。キリングループは、今後も熊本に寄り添い、熊本の皆様を元気にする活動を続けて参りますので皆様のご支援、ご協力のほど宜しくお願いいたします。



「がんばろう！熊本」の想いを胸に、
キリンビールマーケティング熊本支社が一丸となって取り組んでいます

出荷を記念し、関係者によるテープカット

7月5日に熊本県限定で発売した「一番搾り 熊本づくり」は、地元の誇りを、おいしさに変えて「スローガン」に、熊本県の食・文化・情報などに精通する人々との共創を通じて、地域の魅力を発掘しながら作り上げた特別な「一番搾り」。今回の

「エイエイオー！」の勝どきと共に

「一番搾り 熊本づくり」が全国へ！

7月5日に熊本県限定で

全国発売にあたっては、発売前の受注状況で、当初販売目標の12万ケース※の約7割増となる20万ケースの受注を得るなど大変好調に推移している。

※大びん換算による

7月5日に熊本県限定で発売した「一番搾り 熊本づくり」は、地元の誇りを、おいしさに変えて「スローガン」に、熊本県の食・文化・情報などに精通する人々との共創を通じて、地域の魅力を発掘しながら作り上げた特別な「一番搾り」。今回の

7月5日に熊本県限定で発売した「一番搾り 熊本づくり」は、地元の誇りを、おいしさに変えて「スローガン」に、熊本県の食・文化・情報などに精通する人々との共創を通じて、地域の魅力を発掘しながら作り上げた特別な「一番搾り」。今回の

7月5日に熊本県限定で

全国発売にあたっては、発売前の受注状況で、当初販売目標の12万ケース※の約7割増となる20万ケースの受注を得るなど大変好調に推移している。

※大びん換算による

いよいよ全国発売がスタート！

テイング株式会社九州統括

本部長松浦泰彦、同社熊本

支社長麻生芳彦も列席し

た。

来賓を代表してワーカシ

ヨップのメンバーも務めた

株式会社熊本地方卸売市

場代表取締役野田正広様

が「熊本人の熱い想いが詰

まった熊本らしいビールが

できました。感謝の気持ちでいつ

ぱい」と祝辞を述べられた。

その後、関係者によるテ

ープカットに続き、「一番搾

り 熊本づくり」のCMにも

出演している熊本城おもて

なし武将隊による勇壮な演

舞と出荷式を祝う「上が行

われた。さらに、出席者全員

で「エイエイオー！」の勝ど

きを上げて「一番搾り 熊本

づくり」を積んだトラック

を見送り、いよいよ全国発

売がスタートした。

共創ワークショップ メンバーからひと言

熊本のお客様と一緒にになって、「一番搾り 熊本づくり」を開発する「共創ワークショップ」(平成27年10月28日)を実施し、熊本の誇りを込めた熊本らしい一番搾りを開発しました。メンバーを代表して3名の方に、「一番搾り 熊本づくり」への想いなどを伺いました。

「一番搾り 熊本づくり」は、熊本県産米を使用した特別な「一番搾り」です。

株式会社 熊本地方卸売市場
代表取締役 野田 正広 様

ワークショップでは、まず熊本人に「飲みたい」「おいしい」と感じてもらえるよう、「わざもん(新しもの好き)」というキヤッチフレーズにこだわりました。熊本市の観光PRに携わる仕事をしているので、缶のデザインに熊本城のイラストが入ったことがうれしいです！



一般財団法人 熊本国際コンベンション協会
総務課 参事 宮本 幸 様

ワークショップは、あらためて熊本の魅力を考えるいい機会になりました。しかも、その結果、こんなに熊本らしいビールが完成して全国の人に飲んでもらえるなんて素晴らしいですね。これからは、「一番搾り 熊本づくり」の“宣伝マン”として皆さんにお勧めしたいと思います。



株式会社 熊本シティエフエム
統括本部 営業部長 長生 修 様

共創ワークショップには、食・文化・歴史に精通した11名が参加してくださいました。

戦国武将も「美味しい！」

飲んで「熊本に行きたい」と思ってほしい

「一番搾り 熊本づくり」は、すっきりしておつて味の濃い熊本の郷土料理にもよう合う。「火の国赤」を思わせるビールの色も見事じゃ。わしもCMに出演しておるが、「飲んでみたい！」と思えて、よいできであった。「CMを見ました」と声をかけてくれる者がおるほどじゃ。全国の人々に味わってもらい、「熊本に行ってみたい」と思ってもらえばよいのう。



熊本城おもてなし武将隊
加藤 清正 公
(左はあま姫、右は細川 忠興 公)

飲食店でも大好評

お客様にも自信を持ってお勧めしています！

7月5日の熊本県内での発売以来、「一番搾り 熊本づくり」のコンセプトショップとして協力させてもらい、お客様にも大好評でした。特に県外のお客様からは「お土産にしたいがどこで買えるか?」とのお尋ねをたくさんいただきました。私自身、仕込み式にも参加した思い入れの強いビールなので、お客様にも自信を持って提供しています。



キャサリン's BAR
代表取締役
藤本 清美 様

全国で
好評発売中



※本商品は福岡工場での製造ですが、熊本のお客様と共に熊本ならではの味わいをつくりあげたため、「熊本づくり」としてあります。

キリンビールは、「一番搾り 熊本づくり」を通じて、熊本地震の被災地の復興を応援します。この商品の1本につき10円が、熊本地震の被災地の復興支援策に活用されます。



ストップ！未成年者飲酒・飲酒運転。お酒は楽しく適量で。

妊娠中・授乳期の飲酒はやめましょう。あきびんはお取扱店へ。のんだあとはリサイクル。



キリンビールマーケティング株式会社
熊本支社

キリングループは、熊本地震の被災地の復興を応援しています。



笑顔で結ぶ。人を、日本を。

キリングループは、「復興応援 キリン絆プロジェクト」で、熊本地震で被災された皆さまの支援に取り組んでいます。これは、復興から未来へつながる活動を推進するもの。「絆を育む」をテーマに、キリングループ各社が一丸となって展開しています。

日本有数の熊本の農業、畜産の復興を目指す「**食産業復興支援**」。熊本城の復旧など、観光の活性化を支える「**地域の活性化支援**」。被災した子供たちをサッカーなどを通じて元気づける「**心と身体の元気サポート**」。

これら3つの幹で地域に寄り添い、熊本地震からの一日も早い復興を祈るとともに、被災された皆さまの支援を続けて参ります。

支援金を活用した復興支援 〈3つの幹〉

食産業復興支援

熊本県は日本有数の農業県。農業、畜産などの復興を支援していきます。



地域の活性化支援

熊本城の復旧、温泉街など、観光の活性化を支援していきます。



心と身体の元気サポート

公益財団法人日本サッカー協会(JFA)と協働したサッカーを通じた支援などを実施していきます。



※具体的な支援内容については、被災地のニーズをくみとりながら、決定して参ります。

〈資金の組み立て〉

キリングループの復興支援活動は、被災地と全国がつながり、一人ひとりの想いが大きな力となることを願い、お客様にお買い上げいただいた商品の売上や利益の一部、グループ各社の従業員や家族からの募金を復興支援活動の資金として役立てています。

商品を通じた復興応援施策

キリンビールが販売する
「47都道府県の一番搾り」

売上げ
1本につき
1円

見込み金額
7,100万円



「一番搾り 熊本づくり」
の全国発売 (10/12発売)

売上げ
1本につき
10円

見込み金額
4,300万円



「9工場の一番搾り」(11/29発売)

※9工場(北海道千歳、仙台、取手、横浜、名古屋滋賀、神戸、岡山、福岡)

売上げ
1本につき
1円

見込み金額
2,800万円



メルシャンが販売する
「白水」ブランド

期間: 平成28年12/31まで

売上げ
1本につき
5円
(200mlは1円)

見込み金額
400万円



キリンビバレッジが販売する
「生茶」ブランド商品 (小型PET)

期間: 平成28年7/1~31

売上げ
1本につき
1円

見込み金額
3,600万円



※「八代不知火蔵 白水」はメルシャン
八代工場で製造しています。

商品を通じたトータル支援金

合計見込み 1億8,200万円

※平成28年9月時点での見込み金額です。

Topics

キリングループでは、熊本地震の震災復興支援としてさまざまな活動を行っています。これまでの主な活動を紹介します。(平成28年9月末時点)



熊本県への贈呈



八代市への贈呈

地震により、人も街も、熊本のシンボル「熊本城」も大きく傷つきましたが、一つひとつ石垣を積み直すように、一歩ずつ確実に、復興へと向け前進しています。皆様のご支援をいただきながら、これまで以上に元気な熊本の姿を世界へと発信して参ります。



熊本市長
大西 一史 様

心と身体の元気サポートのために夏休みの思い出をプレゼント

心と身体の元気サポートの一環として、サッカーを通じた支援に加えて、被災した熊本の小中学生に夏休みの思い出をプレゼントするため、日本財団が主催する「花火大会鑑賞・帆船・大型フェリーでの体験クルーズ」への招待へ協力しました。



南阿蘇村村長
長野 敏也 様



KIRIN "KIZUNA" KUMAMOTO DAYORI

キリン 純 熊本だより

2017.February Vol.02

KIRIN

「一番搾り 熊本に乾杯」
地元らしい楽しみ方
開発ワークショップ



「世界一の九州をつくろう。」
キリンビール熊本支社は、
熊本の食・旅・人を
応援しています。

キリンビール株式会社 熊本支社長 麻生 芳彦

世界一の
九州を
つくろう。

昨年、熊本のお客様と共に熊本ならではの味わいにつくりあげた「一番搾り 熊本づくり」は、7月の熊本県限定発売、更に10月に「復興応援 キリン純プロジェクト」の活動の一環として、熊本地震の被災地の復興にお役に立てていただくことを目的に全国で発売し、大変ご好評をいただきました。2017年は「一番搾り 熊本に乾杯」で熊本ならではの「楽しいコト」「うれしいコト」をご提案し、熊本の皆さんと一緒に地元を盛り上げ、元気にする活動を展開してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

「一番搾り 熊本づくり」に寄せられたお客様の声

- お客様の3割程度が観光客で、熊本づくりの注文が多かった。
(県内飲食店)
- 県外のお客さんから「飲んでみたい」と注文が多かった。
お土産としての購入も多々あった。
(県内道の駅)
- 売り切れ後も、「もうないんですか?」と聞かれた。
おいしいと評判だった。
(県内飲食店)
- 贈り物に好評。ここまで売れているので私も安心して
お客様におすすめしている。
(県内量販店)
- あっと言葉間に売り切れで問い合わせ多数。
送料がかからでも進物にするお客様が多かった。
(県内量販店)
- 地震時に支援物資を送ってもらったから、何か熊本らしいものがないかと思っていた。
相手がお酒が好きだから喜んでもらえそうだ。
(県内消費者)

※「一番搾り 熊本づくり」は、福岡工場製造ですが、熊本のお客様と共に熊本ならではの味わいをつくりあげたため「熊本づくり」としています。



〈予約受注販売〉
2017年
6月6日(火)
発売



一番搾り 熊本に乾杯

「一番搾り 熊本に乾杯」は、熊本県産米を使用した特別な「一番搾り」です。

福岡工場製造



終了後は、ご参加いただいたワークショップメンバーとキリンスタッフで記念撮影

1月16日にキリンビール株式会社熊本支社で行なったワークショップには、熊本の食・スイーツ・マスメディアなど、さまざまな分野で活躍されている8名の方々にご参加いただきました。今回のワークショップは、熊本県限定の「一番搾り 熊本に乾杯」で、熊本の誇りや良さを感じて元気になる「コト」を創るというものです。一年前の「一番搾り 熊本づくり」のワークショップを開催に続き、2度目の開催となる。

けんぱい熊本!!

キリンビール株式会社熊本支社では、このコンセプト

は、がまだしもんの国で生まれました。

みんなわくわく、あつかい、う

まかー、楽しかーな体験。負

いわー、楽しむための「食・料理」「演

出・シーン」「場所」「カンパイ!

シメ」などのテーマごとに、キ

ーワードを抽出。各チーム毎

にコンセプト開発を行なった。

そのグループワークを経て

決定したのが、「熊本に乾杯」

は、がまだしもんの国で生ま

れました。「熊本に乾杯」で

みんなわくわく、あつかい、う

まかー、楽しかーな体験。負

いわー、楽しむための「食・料理」「演

出・シーン」「場所」「カンパイ!

シメ」などのテーマごとに、キ

ーワードを抽出。各チーム毎

にコンセプト開発を行なった。

そのグループワークを経て

決定したのが、「熊本に乾杯」

は、がまだしもんの国で生ま

れました。「熊本に乾杯」で

みんなわくわく、あつかい、う

まかー、楽しかーな体験。負

いわー、楽しむための「食・料理」「演

出・シーン」「場所」「カンパイ!

シメ」などのテーマごとに、キ

ーワードを抽出。各チーム毎

にコンセプト開発を行なった。

そのグループワークを経て

決定したのが、「熊本に乾杯」

は、がまだしもんの国で生ま

れました。「熊本に乾杯」で

みんなわくわく、あつかい、う

まかー、楽しかーな体験。負

いわー、楽しむための「食・料理」「演

出・シーン」「場所」「カンパイ!

シメ」などのテーマごとに、キ

ーワードを抽出。各チーム毎

にコンセプト開発を行なった。

そのグループワークを経て

決定したのが、「熊本に乾杯」

は、がまだしもんの国で生ま

れました。「熊本に乾杯」で

みんなわくわく、あつかい、う

まかー、楽しかーな体験。負

いわー、楽しむための「食・料理」「演

出・シーン」「場所」「カンパイ!

シメ」などのテーマごとに、キ

ーワードを抽出。各チーム毎

にコンセプト開発を行なった。

そのグループワークを経て

決定したのが、「熊本に乾杯」

は、がまだしもんの国で生ま

れました。「熊本に乾杯」で

みんなわくわく、あつかい、う

まかー、楽しかーな体験。負

いわー、楽しむための「食・料理」「演

出・シーン」「場所」「カンパイ!

シメ」などのテーマごとに、キ

ーワードを抽出。各チーム毎

にコンセプト開発を行なった。

そのグループワークを経て

決定したのが、「熊本に乾杯」

は、がまだしもんの国で生ま

れました。「熊本に乾杯」で

みんなわくわく、あつかい、う

まかー、楽しかーな体験。負

いわー、楽しむための「食・料理」「演

出・シーン」「場所」「カンパイ!

シメ」などのテーマごとに、キ

ーワードを抽出。各チーム毎

にコンセプト開発を行なった。

そのグループワークを経て

決定したのが、「熊本に乾杯」

は、がまだしもんの国で生ま

れました。「熊本に乾杯」で

みんなわくわく、あつかい、う

まかー、楽しかーな体験。負

いわー、楽しむための「食・料理」「演

出・シーン」「場所」「カンパイ!

シメ」などのテーマごとに、キ

ーワードを抽出。各チーム毎

にコンセプト開発を行なった。

そのグループワークを経て

決定したのが、「熊本に乾杯」

は、がまだしもんの国で生ま

れました。「熊本に乾杯」で

みんなわくわく、あつかい、う

まかー、楽しかーな体験。負

いわー、楽しむための「食・料理」「演

出・シーン」「場所」「カンパイ!

シメ」などのテーマごとに、キ

ーワードを抽出。各チーム毎

にコンセプト開発を行なった。

そのグループワークを経て

決定したのが、「熊本に乾杯」

は、がまだしもんの国で生ま

れました。「熊本に乾杯」で

みんなわくわく、あつかい、う

まかー、楽しかーな体験。負

いわー、楽しむための「食・料理」「演

出・シーン」「場所」「カンパイ!

シメ」などのテーマごとに、キ

ーワードを抽出。各チーム毎

にコンセプト開発を行なった。

そのグループワークを経て

決定したのが、「熊本に乾杯」

は、がまだしもんの国で生ま

れました。「熊本に乾杯」で

みんなわくわく、あつかい、う

まかー、楽しかーな体験。負

いわー、楽しむための「食・料理」「演

出・シーン」「場所」「カンパイ!

シメ」などのテーマごとに、キ

ーワードを抽出。各チーム毎

にコンセプト開発を行なった。

そのグループワークを経て

決定したのが、「熊本に乾杯」

は、がまだしもんの国で生ま

れました。「熊本に乾杯」で

みんなわくわく、あつかい、う

まかー、楽しかーな体験。負

いわー、楽しむための「食・料理」「演

出・シーン」「場所」「カンパイ!

シメ」などのテーマごとに、キ

ーワードを抽出。各チーム毎

にコンセプト開発を行なった。

そのグループワークを経て

決定したのが、「熊本に乾杯」

は、がまだしもんの国で生ま

れました。「熊本に乾杯」で

KIRIN "KIZUNA" KUMAMOTO DAYORI

キリン 絆 熊本だより

2017.June Vol.03

KIRIN



「世界一の九州をつくろう。」
キリングループは熊本の
食・旅・人を応援します。

キリンビール株式会社 熊本支社
麻生 芳彦



私たちキリングループの「世界一の九州をつくろう。」には、「地域とのつながりを大切に地元の方々と一緒に熊本ならではの食や旅を応援し、熊本の元気を日本全国や世界へ発信したい」という想いが込められています。今回、その想いを阿蘇や熊本県内各地の温泉をイメージして自然な色でまとめデザインにしました。私たちが掲げる「キリングループは熊本の食・旅・人を応援します。」と「復興応援 キリン絆プロジェクト」の3つの幹とは同じ志です。

これからも地域に寄り添い、熊本の元気を応援する活動に取り組んで参ります。



「キリンビール熊本支社では、
「世界一の九州をつくろう。」の思
いのもと、「さしより一番搾り
ば!!」のメッセージを添えて、熊
本の食・旅・人を応援しています。
その思いを二つの形にしたの
が、昨年、熊本のお客様と共に熊
本が、昨年、熊本のお客様と共に熊

本ならではの味わいにつくりあげた「一番搾り熊本づくり※」で
す。7月の熊本県限定発売に続
き、10月には「復興応援 キリン絆
プロジェクト」の環として、売上
の一部を熊本地震の被災地復
興にお役立てていただくことを目
的に行きたいとおもいます。

今年も6月6日に、熊本の皆
様と共につくりた「一番搾り 熊
本に乾杯」が発売になります。
「わざもん集まれ!期間限定!」
よか仲間どうまかん。」のコン
セプトのもとつくりあげた、新
しもの好き(わざもん)の熊本の
皆様も納得の火の国の「赤」をイ
ベントで楽しんでください。

「キリンビール熊本支社では、
「一番搾り 熊本に乾杯」で熊本な
らではのたのしいコト、うれしい
コトをご提案し、熊本の皆様と
一緒に地元を盛り上げ元気を
応援する活動を展開してまい
ります。どうぞよろしくお願ひ
いたします。

※「一番搾り熊本づくり」は福岡工場で
の製造ですが、熊本のお客様と共に熊
本ならではの味わいをつくりあげたた
め「熊本づくり」としていました。

「一番搾り 熊本に乾杯」で熊本をより元気に!
熊本が大好きなお客様と一緒につくりた
「一番搾り 熊本に乾杯」で熊本をより元気に!

福岡工場
製造



〈熊本県限定〉
2017年
6月6日(火)
発売

一番搾り 熊本に乾杯

福岡工場
製造

熊本県限定のCMを撮影しました



あま姫もおすすめ!

一月のワークショップに参加させて頂き、より発売を楽しみにしておりました。
CM撮影は桜の馬場城彩苑で執り行い、
わたくしたち熊本城おもてなし武将隊も
出演しております。熊本の皆様には是非
飲んで頂きたいおすすめの商品でござ
ります!

「一番搾り 熊本に乾杯」は、熊本県産米を使用した特別な「一番搾り」です。

福岡工場
製造

Mercian 「熊本ならでは」カクテル
「阿蘇」グリーン

南阿蘇の白川水源の水を割り水にして作られた焼酎・白水。
キリン 生茶で割ることで阿蘇高原の緑を表現しました。
旨みと香りの余韻が広がる1杯です。

COCKTAIL レシピ(比率)
ごめ焼酎 白水 or むぎ焼酎 白水 1
キリン 生茶 2

KIRIN 「熊本JOH WALKER」

熊本城の黒をイメージしつつ、火の国の赤を加えた一味造ったハイボールです。
ジョニーウォーカーの信条である「Keep walking!歩み続ける!」を未来に向かって歩み続ける熊本城の姿と重ねました。

COCKTAIL レシピ(比率)
ジョニー ウォーカー ブラックラベル 12年 1
キリン メッツ for PRO ソーダ 4
一味唐辛子 適量

キリンビバレッジ

キリン午後の紅茶は、
ご当地めしを応援しています。

キリン午後の紅茶は、
ご当地めしを応援しています。

キリンビール株式会社
熊本支社



ストップ! 未成年者飲酒・飲酒運転。お酒は楽しく適量で。

妊娠中・授乳期の飲酒はやめましょう。のんだあとはリサイクル。



キリングループは、熊本地震の被災地の復興を応援しています。



笑顔で結ぶ。人を、日本を。

「復興応援 キリン絆プロジェクト」熊本支援

キリングループが掲げる「絆を育む」をテーマに、「食産業復興支援」「地域の活性化支援」「心と身体の元気サポート」の3つの幹で地域に寄り添い、熊本の復興から未来へつながる活動の支援を推進していきます。また、熊本県の「平成28年熊本地震からの復旧・復興プラン」とも連携し、行政、民間企業、公益財団法人が一体となり、より包括的かつきめ細やかな支援を実現することを目指しています。

①復興から未来へ〈3つの幹〉

食産業復興支援

地域の活性化支援

心と身体の元気サポート

②行政の復旧・復興プランと連動した全体戦略の支援

熊本県・キリングループ・日本財団による熊本支援に関する包括支援協定をベースに、熊本県などの行政と連動した支援を実施

熊本県

『くまもと農産物等トータルブランド『くまもとの赤』再興プロジェクト』を応援



「くまもとの赤」の認知度向上を図るとともに、県産農産物などの付加価値向上や多様な流通ルートの構築による熊本ブランドの定着に取り組むことで、「競争力のある農林水産業の実現」を目指します。

公益財団法人 阿蘇グリーンストック

『世界文化遺産』を目指す阿蘇エリア 草原再生プロジェクトを応援



公益財団法人阿蘇グリーンストックを通じて、牧野の草原景観の保全を進める阿蘇市および南阿蘇村の3牧野組合に支援金を助成。損壊した牧野道の早期補修の実施や防火帯の整備、野焼きの再開などに活用されます。

くまもと災害ボランティア団体ネットワーク

『地域支え合いセンターと連携したコミュニティづくり支援プロジェクト』を応援



くまもと災害ボランティア団体ネットワークに支援金を助成。地域支え合いセンターと連携し、仮設団地におけるコミュニティ形成支援、みなし仮設入居者の交流イベント、集会所などにおける必要備品支援に活用されます。

③地域の個別プロジェクト支援

熊本市エリア・阿蘇エリアを中心とする具体的な取組を支援

日本財団に基金を設立し、被災地のニーズをくみ取りながら、支援案件を決定していきます。

農業 畜産業 支援



観光地域 活性化



キリングループ商品を通じた復興応援施策=約2億円を活用

(お客様にお買い上げいただいた商品の売上や利益の一部、グループ各社の従業員や家族からの募金を復興支援活動の資金として役立てます。)

やまなみハイウェイ観光連絡協議会

『やまなみ訪遊プロジェクト』を応援

やまなみハイウェイ観光連絡協議会に支援金を助成。阿蘇と由布院をつなぐ沿線の7市町村22団体が地域を越えて連携。地域を繋いで面としての観光振興を図り、日本一の広域周遊ルートとするこことを目指します。



黒川温泉観光旅館協同組合

『黒川一(いち)ふるさとプロジェクト』を応援



地域全体がお客様の故郷であるという「黒川一(いち)ふるさと」構想により、地域内外に第二市民のような人々を増やすことを目的とし、地域産業と連携した着地型体験の仕組みづくり、「地域が稼ぐ」ことを実現する関係性づくり、産業間交流による人づくりを行い、多様な人々が協働する地域づくりを目指します。

④キリンの活動を通じた支援

- 公益財団法人日本サッカー協会と協働した「熊本サッカー教室」「JFAこころのプロジェクト『夢の教室』in熊本」の開催。
- 被災地応援企画「おでかけ肥後にわか」などの開催。



一般社団法人 熊本県サッカー協会

被災地のサッカー少年少女たちを招待

「キリンチャレンジカップ2017」熊本地震復興支援マッチ・がんばるばい熊本(なでしこジャパンvsコスタリカ女子代表戦)に一般社団法人熊本県サッカー協会と連携し、益城エリア他の少年少女約400名の観戦招待を実施しました。



Topics

キリングループでは、熊本地震の震災復興支援としてさまざまな活動を行っています。これまでの主な活動を紹介します。

九州初開催の「武士の魂・戦国パーク」に特別協賛

3月4日・5日、「地震で傷ついた熊本に元気と活力を」と、全国各地の武将隊が熊本城二の丸広場に集結、「武士の魂・戦国パーク」が開催。熊本城を基点とする中心市街地の活性化支援の一環として特別協賛。



戦国時代は武将が主役の時代でしたが、現代は「民」が主役の時代。市民の皆さんと力を合わせて、復興する熊本を更に盛り上げてまいりたいと考えておりますので、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。



「城下町くまもと きてくだ祭 ~あれから1年、ここまで元気になりました~」に協力

熊本地震から1年を迎えた4月15日・16日、熊本市の中心商店街一帯で、復興に向かって進んでいる熊本の元気を全国に発信するイベントが開催され、熊本城の復興と連動する中心市街地の活性化支援として協力。



次の世代に「今よりもいい熊本」を引き継ぐためににも、行政などと連携しながら30年後の城下町(中心市街地)のグランドデザインを考えていきたいと思います。



KIRIN "KIZUNA" KUMAMOTO DAYORI

キリン 純 熊本だより

2017.October Vol.04

KIRIN
新・一番搾り



「世界一の九州をつくろう。」
キリングループは熊本の
食・旅・人を応援します。

キリンビール株式会社 熊本支社長
安武 直幸

2017年10月着任。40才。熊本生まれ。
幼いころに見た、広大で美しい阿蘇・草千里の風景は、今でもはっきりと覚えています。
地元熊本の方々と一緒に活動できることを、とても楽しみにしております。
どうぞよろしくお願いいたします。

当支社では、「世界一の九州をつくろう。」のスローガンのもと、地域とのつながりを大切に、熊本の方々とともに、熊本ならではの食・旅・人を応援し、熊本の元気を日本全国や世界へ発信する活動を展開しています。今回の「阿蘇の草原に乾杯デザイン品」は阿蘇の魅力を発信すると同時に、売り上げの一部を草原再生支援策に活用していただく予定です。今後も地元の方々と一緒に様々な形で熊本の元気を応援する活動に取り組んで参ります。



MADE IN KYUSHU PROJECT



Photo: 葉山祥鼎

キリンビール株式会社とキリンバレッジ株式会社は、「キリン一番搾り生ビール」と「キリン午後の紅茶 おいしい無糖」の「阿蘇の草原に乾杯」デザイン品を、九州エリアと沖縄県で10月16日(月)から数量限定で発売します。

キリンビール株式会社とキリンバレッジ株式会社は、「キリン一番搾り生ビール」と「キリン午後の紅茶 おいしい無糖」の「阿蘇の草原に乾杯」デザイン品を、九州エリアと沖縄県で10月16日(月)から数量限定で発売します。

これは、熊本県と阿蘇郡市の7市町村で取り組みを進めている「阿蘇・火山との共生」とその文化的景観をテーマとする世界文化遺産登録の応援の一環で、両商品の売り上げ1本につき1円(「一番搾り」中びん(通常びん)についても、10月1日(日)から12月31日(日)までの期間の熊本県内の売り上げ1本につき1円)が、「復興応援 キリン純プロジェクト」熊本支援に基づき、熊本地震による被災から

限定発売される「キリン一番搾り生ビール」と「キリン午後の紅茶おいしい無糖」には、米塚や外輪山など阿蘇の雄大な草原をイメージしたイラストが大きく配置されています。このデザインの基となる写真をご提供いただいたのは、熊本出身の写真家・エッセイストで、南阿蘇村の葉祥明阿蘇高原絵本美術館館長を務める葉山祥鼎さんです。阿蘇の草原再生に積極的に取り組んでおられる葉山さんに、キリングループの復興支援や阿蘇の世界文化遺産登録を応援する取り組みにご賛同いただき、実現しました。

紅茶おいしい無糖」には、米塚や外輪山など阿蘇の雄大な草原をイメージしたイラストが大きく配置されています。このデザインの基となる写真をご提供いただいたのは、熊本出身の写真家・エッセイストで、南阿蘇村の葉祥明阿蘇高原絵本美術館館長を務める葉山祥鼎さんです。阿蘇の草原再生に積極的に取り組んでおられる葉山さんに、キリングループの復興支援や阿蘇の世界文化遺産登録を応援する取り組みにご賛同いただき、実現しました。

福岡工場
製造

「阿蘇・火山との共生と
その文化的景観」を
世界文化遺産へ。



九州限定
発売!!

葉山祥鼎さんの写真をイラスト化



キリングループの活動に賛同
葉祥明阿蘇高原絵本美術館館長で写真家の葉山祥鼎です。この度は私が撮影した阿蘇の写真を商品デザインやポスターに使っていただき感謝いたします。阿蘇の草原再生や世界文化遺産登録を応援するキリングループ様の取り組みに共感し、作品の提供を喜んでお受けしました。

九州のキリングループ各社では、今後も「世界一の九州・沖縄をつくろう。」を活動の中心に据え、地元のお客様と一緒に九州、熊本を盛り上げていきます。

え、地元のお客様と一緒に九州、熊本を盛り上げていきます。
で、どうぞ期待ください。

阿蘇の世界文化遺産登録を応援!
キリンビール株式会社を限定発売

「阿蘇」グリーン

「熊本ならでは」カクテル

南阿蘇の白川水源の水を割り水にして作られた焼酎・白水。キリン 生茶で割ることで阿蘇高原の緑を表現しました。旨みと香りの余韻が広がる1杯です。

COCKTAIL レシピ(比率)
こめ焼酎 白水 1
キリン 生茶 2

まる搾り生茶葉抽出物 加熱処理

COCKTAIL レシピ(比率)
こめ焼酎 白水 1
キリン 生茶 2

STOP! 未成年者飲酒・飲酒運転。お酒は楽しく適量で。
妊娠中・授乳期の飲酒はやめましょう。のんだあとはリサイクル。

八代茶
ASO GREEN

アサヒグリーン

あ、そーだ
白水呑もう。

阿蘇
本格焼酎
白水

こめ焼酎 白水

大自然を
美味しく呑もう。
白水ハイボール。

名水百選
「南阿蘇・白川水源水」使用
本格焼酎 アルコール分25%

キリンビバレッジ

キリン 午後の紅茶
南阿蘇でCM撮影

7月20日、南阿蘇村の白川水源で、「キリン 午後の紅茶」のCM撮影が行われました。昨年冬、南阿蘇で撮影され話題となったCMの第2弾。冬篇に引き続き、上白石萌歌(かみしらいし もか)さんを起用。夏篇はaikoさんの名曲「カブトムシ」を歌っています。



キリンビール株式会社 九州統括本部
メルシャン株式会社
キリンビバレッジ株式会社 九州地区本部

キリングループは、熊本地震の被災地の復興を応援しています。



笑顔で結ぶ。人を、日本を。

<2017年6月～9月の取り組みをご紹介いたします。>

阿蘇GIAHS(ジアス)ツーリズム推進協議会

**6/12 「阿蘇GIAHSツーリズム推進プロジェクト」
(阿蘇の農業×観光への挑戦)を応援**

阿蘇地域における農業団体が主体となり、農業者、阿蘇地域世界農業遺産推進協会、阿蘇草原再生協議会、行政などと連携。農業×観光のツーリズム確立による新しい産業モデルの創造を目指します。レストランバスなどのトライアルイベントを行います。

**熊本県産牛肉消費拡大推進協議会**

8/22 「『くまもとあか牛』ブランド力強化プロジェクト」「くまもとあか牛ブランド研修会」を実施

静岡県立大学の岩崎邦彦教授を講師に迎え、あか牛生産者などを対象に、ブランド力強化のためのアドバイスや他県での事例などを紹介。あか牛の生産現場視察では、「あか牛は熊本を代表するブランドになる可能性を十分に秘めている」と評価されました。

**熊本県経済農業協同組合連合会**

**8/24 県産いちご「ゆうべに」でみんなを“にこやか”に
くまもとの赤「ゆうべに」smile事業を応援**

生産者の栽培意欲の向上と消費者への認知向上により県産いちご「ゆうべに」のブランド育成を図り、「くまもとの赤」の代表として、熊本が有数のいちご生産地であるということを発信し、震災後の熊本の農業と地域活性化に貢献することを目指します。

**にしら福幸協議会**

9/8 「西原村 農業から土・水・風を感じようプロジェクト」を応援

西原村の風土の特徴を作りだす土、水、風のもとで根付いてきた農作物(落花生)と新しい農作物(ブルーベリー)を中心として、西原村ならではの体験型農業の仕組み作りと、新たな商品開発による販路の拡大を地域の農業者が協働で目指します。



「復興応援 キリン紋プロジェクト」熊本支援

キリングループが掲げる「紋を育む」をテーマに、**食産業復興支援** **地域の活性化支援** **心と身体の元気サポート** の3つの幹で地域に寄り添い、熊本の復興から未来へつながる活動の支援を推進しています。また、熊本県の「平成28年熊本地震からの復旧・復興プラン」とも連携し、行政、民間企業、公益財団法人が一体となり、より包括的かつきめ細やかな支援を実現することを目指しています。

阿蘇市

**7/26 “阿蘇がコギダス新たなツーリズムによる地域活性化策”
「阿蘇サイクルツーリズム学校プロジェクト」を応援**

阿蘇をフィールドとし、その地形を活かした滞在コンテンツとして、サイクルツーリズムを創出。「阿蘇ユネスコジオパーク」や、阿蘇の振興を担うブランド「然」の活動をベースに、阿蘇の若者が輝き活躍する場として、ツーリストの滞在交流の場づくりを目指します。

キリン『紋』ボランティア

**6/9-11
6/16-18 南阿蘇村ほかで、グループ社員による
キリン『紋』ボランティアを実施**

グループから応募した72名が参加。熊本城の視察やテクノ仮設団地での講話・草取り、南阿蘇鉄道不通区間の除草作業、東海大学での視察、阿蘇門前町商店街での講話など、ボランティア活動や視察を通じて、復興や活性化に向けた取り組みを自分として捉え、「(自分に)何ができるか」を考える良い機会となりました。

南阿蘇村

8/9 本格焼酎「八代不知火藏 白水」の売上を通じて、「ふるさと寄付金」を南阿蘇村に贈呈

メルシャン株式会社は、「八代不知火藏」で製造している「八代不知火藏 白水」の4月1日～6月30日の売上げ1本につき5円、総額1,272,575円を「ふるさと寄付金」として、南阿蘇村に贈呈。「白川水源」の環境保全整備などに活用されます。

熊本市(夏のくまもとお城まつり)

8/5 「夏のくまもとお城まつり×日本元気プロジェクト2017火の国応援団～Produced by KANSAI YAMAMOTO～」に協力

熊本城・二の丸広場ステージで開催された「夏のくまもとお城まつり×日本元気プロジェクト2017」。熊本城の復興と熊本の未来への発展を祈念し熊本市が主催し、山本寛斎氏がプロデュース。復興に向けて進む熊本を舞台に行なわれ、多くの来場者で盛り上がりました。

公益財団法人 阿蘇グリーンストック

**8/28 「『世界文化遺産』を目指す阿蘇エリア
草原再生プロジェクト」を応援**

熊本地震により、野焼きの再開・継続が困難になっている牧野に対し、牧野道の復旧などによる野焼きの再開支援とともに、「畜産と草原景観の関係」や「草原景観の意義」など、阿蘇の草原景観についての理解向上や普及啓発を推進します。

特定非営利活動法人くまもと災害ボランティアネットワーク

**9/2 まなし仮設住宅入居者応援
イベント「つながるエリア」開催**

東部交流センターを会場に、熊本地震後に県内のまなし仮設住宅に入居している方々の交流イベント「つながるエリア」を開催。約2600名が来場し、交流促進と各種相談を実施。飲料提供をはじめ、協力企業による軽食、生活用品、衣料品などの提供も行われました。

株式会社 くまもとDMC

9/4 熊本の食と観光の融合を目指す「阿蘇ビジネストレーニングセンタープロジェクト」を応援

阿蘇エリアを中心に、地域活性化にチャレンジする意欲のある事業者を集め、地元住民との連携による「食」と「観光」の融合を実現できる仕組み作りを目指します。地域ブランド化推進セミナーの開催、「おもてなし力」向上と他地域との連携、リーダー育成などの支援を行います。

キリングループ本社

**6/14 キリングループ本社で
「第2回 熊本物産販売会」を開催**

6月14日に、キリングループ本社で「第2回 熊本物産販売会」を開催しました。熊本地震の被災地の1日も早い復興を願い、趣旨に賛同したグループ社員300名に加え、熊本県市の東京事務所や県内マスコミ各社の皆様にもご参加いただきました。

Topics

「一番搾り 熊本に乾杯! in 熊本城 城彩苑」を開催

昨年、全国発売した「一番搾り 熊本づくり」に続き、今年も「世界一の九州をつくろう。」の思いのもと、お客様とともに熊本ならではの味わいにつくり上げた「一番搾り 熊本に乾杯」を6月6日に発売。6月9・10日の両日、選りすぐりの熊本ならではのおつまみを食べながら、新発売の「一番搾り 熊本に乾杯」を楽しめるイベントを開催。会場となった熊本城に隣接する城彩苑では、参加店舗がこの日のために開発した「熊本城下おつまみ」の屋台がずらりと並び、仕事帰りのサラリーマンや観光客で賑わいました。



「キリン氷結® 熊本産みかん限定出荷」を新発売 JA熊本市 柑橘部会(河内町)を訪問

人気の定番ブランド「氷結®」シリーズから、熊本県で収穫した温州みかんの氷結ストレート果汁を使用した新商品「キリン 氷結® 熊本産みかん限定出荷」を8月1日より全国販売。今回、熊本産の温州みかん100%を使用した同商品の売上は、1本につき1円が、熊本地震の被災地の復興支援策に活用されます。同商品の新発売に先駆け、商品の発売報告ならびにPR活動の一環として、麻生芳彦社長が、熊本みかんの産地である河内町の生産者を訪問しました。



KIRIN "KIZUNA" KUMAMOTO DAYORI

キリン 純 熊本だより

2018.February Vol.05

KIRIN



新・一番搾り

「たさんごの愛飲に、心からの感謝！」



熊本ならではの
食・旅・人を応援!
さしより「一番搾り」で
熊本をもっと元気に!!

世界中どこを探しても、九州の良さは熊本にしかありません。世界に

社では、九州各県の支社と連携し、「世界一の九州をつくろう。」のスローガンのもと、地域とのつながりを大切に、熊本ならではの食・旅・人を応援し、日本全国や世界に発信する取り組みを展開しています。



キリングループは、
熊本の食・旅・人を応援します

食



旅



人



※画像は展開例です

新・一番搾り 熊本で絶好調

2017年キリン一番搾り販売量 前年比
リニューアル後(2017年9月~12月) 前年比107%
リニューアル前(2017年1月~8月) 前年比100%

7%
UP!

一番搾りを通じた熊本地震復興支援寄付金(2016年~)

合計 1億5723万円

※日本財団の協力のもと、「復興応援 キリン純 熊本支援として、熊本地震からの復興支援策に活用しています。

●2016年「47都道府県の一番搾り」(6月発売の熊本づくりを含む)

8180万円
※1本1円

●2016年10月全国発売「一番搾り 熊本づくり」

7500万円
※1本10円

●2017年「一番搾り 阿蘇の草原に乾杯」

43万円
※1本1円

「一番うまいビールをつくるんだ」という、ビールづくりにかける熱い想いから生まれた「一番搾り」。2017年も、熊本のお客様にたくさんのご愛飲をいただき、ありがとうございました。

昨年は、熊本が大好きなお客様と一緒につくりあげた「一番搾り熊本に乾杯」を皮切りに、1000回を超えた。

熊本に乾杯」(2017年6月発売)を皮切りに、1000回を超えた。

「一番うまいビールをつくるんだ」という、ビールづくりにかける熱い想いから生まれた「一番搾り」。2017年も、熊本のお客様にたくさんのご愛飲をいただき、ありがとうございました。

昨年は、熊本が大好きなお客様と一緒につくりあげた「一番搾り熊本に乾杯」を皮切りに、1000回を超えた。

「一番うまいビールをつくるんだ」という、ビールづくりにかける熱い想いから生まれた「一番搾り」。2017年も、熊本のお客様にたくさんのご愛飲をいただき、ありがとうございました。

る試験醸造を繰り返してたどり着いた「新・一番搾り」(2017年9月フルリニューアル)、そして阿蘇の世界文化遺産登録を応援した「一番搾り 阿蘇の草原に乾杯」デザイン品(2017年10月発売)と、3つの「一番搾り」が登場。おかげまで、いずれも大好評のうちに2018年を迎えることとなりました。

今年も、キリンビール熊本支社では「やっぱりビールはおいしい、うれしい」と感じていただける時間を探して参ります。2018年も、キリンビールと一緒に「一番搾り」をどうぞよろしくお願ひいたします。

新
おいしいビールが
売れてます。



福岡工場製造

CRAFT BEER
クラフトビール、それはビールを楽しむ。RECOMMEND!//

タップ・マルシェ
新開発、1台で4種類のビールを販売できる、4タップディスペンサー。

よなよなエール
TYPE:アメリカン・ペールエール
Alc.5.5% / ヤッホーブルーイング

ブルックリンラガー
TYPE:アンバーラガー
Alc.5.0% / ブルックリンブルワリー

496(ヨンキヨーロク)
TYPE:IPL / Alc.5.5%
スプリングバレーブルワリー

on the cloud(オンザクラウド)
TYPE:ウートエール / Alc.5.5%
スプリングバレーブルワリー

阿蘇ハイボール。
大自然を美味しく呑もう。

「本格焼酎白水」は、「仕込み水」に球磨川伏流水を、味わいを大きく左右する「割り水」に「名水百選 南阿蘇白川水源水」を使用し、やわらかく、まろやかな味わいと後口のキレが特長の「水」にこだわった焼酎です。白川水源がある南阿蘇村は、2016年4月の熊本地震において多大なる被害に遭いましたが、白川水源は枯れることなく、断水期間は、周辺住民の命を繋ぐ役割を果たしていました。

阿蘇ハイボール
本格焼酎 白水

おいしい無糖
九州の名物! ちくわサラダ
九州めし
九州の紅茶とピッタリ

キリン 午後の紅茶
おいしい無糖
九州の名物! ちくわサラダ
九州めし
九州の紅茶とピッタリ

本格紅茶の味わいとすっきりとした飲みやすさがお食事と相性抜群! 「午後の紅茶 おいしい無糖」と一緒にいかがでしょうか?

午後の紅茶 おいしい無糖



ストップ! 未成年者飲酒・飲酒運転。お酒は楽しく適量で。

妊娠中・授乳期の飲酒はやめましょう。のんだあとはリサイクル。



キリンビール株式会社 九州統括本部

メルシャン株式会社

キリンビバレッジ株式会社 九州地区本部

キリングループは、熊本地震の被災地の復興を応援しています。



笑顔で結ぶ。人を、日本を。

<2017年9月～12月の取り組みをご紹介いたします。>

熊本県

**10/10 熊本県「郷土の食材開発モデル事業」として
南阿蘇村・西原村・甲佐町の3プロジェクトを応援**

熊本県選定による3プロジェクト、南阿蘇村環境保全農業推進協議会「南阿蘇のあか牛と南阿蘇そばのヘルシーハンバーガープロジェクト」、西原村特産品ブランド化推進協議会「西原村特産品ブランド化プロジェクト(シルクスイート)」、甲佐町食による復興協議会「ニラでつながる甲佐町元気プロジェクト」を推進します。



熊本県

**12/8 くまもと農産物等トータルブランド再興プロジェクト
～10 首都圏PR「がんばるけん熊本!くまもとの赤クリスマス」を応援**

熊本県は、「くまもとあか牛」や県産いちご「ゆうべに」など「くまもとの赤」ブランドの首都圏での認知度向上を図るために、「二子玉川ライズガレリア」において、「がんばるけん熊本!くまもとの赤クリスマス」を開催。蒲島県知事、「くまモン」が県産品をPR。販売ブースには終始行列ができ、売り切れる商品も出るなど大好評でした。



くまもとDMC「阿蘇ビジネストレーニングセンタープロジェクト」

**9/26 食と観光の融合できる仕組みづくりを推進
「阿蘇ビジネストレーニングセンタープロジェクト」始動!**

阿蘇地域の農業、観光業に携わる事業者や行政関係者を対象にした全5回のプロジェクトが、9月26日スタート。月に1回程度、観光や情報発信の専門家を招き、ワークショップなどの実践を交えて、阿蘇エリアの食と観光の融合できる仕組みづくりを推進し、魅力的な観光地域づくりを後押ししていきます。



阿蘇千年草原コンソーシアム

**10/19 阿蘇の草原と火山を満喫しよう!
「農家で作る千年草原ファンプロジェクト」を応援**

千年もの長い間守られてきた阿蘇の草原を見るだけではなく体験して、楽しみ、草原と火山を満喫し、好きになっていただくことを目指します。「阿蘇草原BBQ」として、あか牛や草原野菜など阿蘇の草原に由来する食材を使用し、農業者が草原の中でおもてなしを行うことで、千年草原の価値を知っていただく事業を展開します。



南阿蘇村きらめきコンソーシアム

**10/13 「水の生まれる郷“南阿蘇村”」のブランディング
「南阿蘇村きらめきプロジェクト」を応援**

南阿蘇村の復興計画をもとに、官民一体の組織「南阿蘇村きらめきコンソーシアム」を設立。「水の生まれる郷“南阿蘇村”」として、資源である“水”的魅力を磨くことで南阿蘇村の水のブランディングを行います。10月21日の「あそのみなみのあきまつり」では、吉良清一村長による“村長宣言”が行われました。



熊本市

**10/10 熊本市 コンベンション開催促進セミナー
レセプション体験会、熊本城 城彩苑で開催**

10月10日のコンベンション開催促進セミナーには主催者のほか、事業者、地域団体の関係者らが参加。熊本城に隣接する城彩苑で、レセプション体験会が行われ、熊本ならではの料理や、県産食材を使ったメニューが提供され、「熊本城おもてなし武将隊」の演舞や熊本民謡に合わせた子ども舞踊なども披露されました。



熊本県産牛肉消費拡大推進協議会

**11/24 「くまもとあか牛 ブランド力強化プロジェクト」
(熊本県で誕生した和牛“あか牛”)を応援**

ヘルシーな赤身肉、阿蘇の広大な草原での放牧風景等、多くの魅力を持つ「くまもとあか牛」のブランド力強化を通じ、消費者のあか牛への関心と生産者の意欲向上を図り、農業と観光業の両面から地域活性化につなげ、被災地域の復興に向けた取組を行っています。



一般社団法人 阿蘇門前町商店街振興協会

**10/16 商店街共通のブランドを立ち上げ、地域ならではの
商品づくりに挑む「阿蘇かがやきプロジェクト」を応援**

おいしい湧き水・地元食材を使った地域ならではの食べ物を知っていただるために、商店街共通のブランド「ASO MONZON」を協働で創り上げます。商店街が同じ目的を持ち、協働で地域ブランドの育成や商品開発に取り組むことで、集客力のある観光資源との相乗効果を創出して地域の活性化を推進します。



やまなみハイウェイ観光連絡協議会 東京PR

**12/14 やまなみハイウェイ沿線地域の活性化に取組む
新たな観光スタイル「新・やまなみ宣言」、東京で発表**

12月14日、東京丸の内において、熊本地震からの復興に向けたやまなみハイウェイ沿線地域の活性化のため、「やまなみハイウェイ」としてのブランド化、新たな観光の形を、「新・やまなみ宣言」として発表。やまなみ地域一丸となって、HPやSNSでの情報発信などを行い、さらなる観光戦略に取り組みます。



熊本ごはん組

**12/21 若手米農家の絆で挑む「夢を持てる米づくりで
熊本のいとなみ復興プロジェクト」を応援**

若手米農家のつながりをつくり、米づくりを夢のある産業へと再生します。稲作勉強会、熊本在来品種「穂増(ほまし)」の栽培、米の加工品開発、地域のしめ縄再生、農家と繋がるmy田んぼセット開発(バケツ稻)、新米お披露目会などの活動により米農家の後継ぎや新規就農者を増やす、いとなみ復興を目指します。



南阿蘇村観光復興プロジェクト交流協議会

**12/13 南阿蘇にしかないオンラインの価値づくり
「つなぐ、つながる南阿蘇プロジェクト」を応援**

業種を超えた40代以下約30名の「つなぐ、つながる南阿蘇未来会議」が中心となり、20年後の南阿蘇をより良くするために、南阿蘇にしかないオンラインの価値の発掘や、観光商品の育成、地域資源をつなぐ場の創出を行います。南阿蘇の星空と草原をつなぐ「宇宙(そら)ツーリズム」を開発し、「観光商品販売所」を設立します。



お出かけ肥後にわか 阿蘇市で開催

**11/9 「これからもっと元気になるばい!～お出かけ肥後にわか～」
(劇団きゃあ公演)、阿蘇市で開催**

11月9日、阿蘇市立阿蘇体育館を会場に、「これからもっと元気になるばい!～お出かけ肥後にわか in阿蘇市～」(RKK熊本放送主催)を開催。「阿蘇地域の方々に元気になってもらいたい」との思いを込めた公演に500人以上が来場され、多くの拍手と笑いに包まれ、ラジオの公開生放送、復興マルシェも盛り上りました。



Topics

「2017くまもと地域振興フェア『WONDER MESSE KUMAOTO』」に協賛

10月27日・28日、益城町のグランメッセ熊本で「2017くまもと地域振興フェア『WONDER MESSE KUMAOTO』」(主催:㈱肥後銀行・くまもと地域振興フェア実行委員会)を開催。熊本が持つ食・観光・歴史・技術などの魅力を国内外に発信するフェアで、今年は、「熊本地震からの創造的復興に向けた熊本の新たな挑戦」をコンセプトに、熊本の魅力を存分に体感できるコンテンツが揃えられました。会場内のブースで「復興応援 キリン絆プロジェクト」熊本支援の事業を紹介。「キリン一番搾り 阿蘇の草原に乾杯」「キリン 氷結® 熊本産みかん」のPR販売も行いました。



阿蘇の草原でBBQモニターツアー開催、「草原で乾杯」を実体験

阿蘇千年草原コンソーシアム(ANEKO)が取組む「農家で作る千年草原ファンプロジェクト」の一環として、11月12日に草原バーべキュー(BBQ)のモニターツアーを開催。世界屈指のカルデラを持つ阿蘇で、「千年前から続いている」といわれる草原を舞台に、BBQやドローン体験会を行い、草原ファンを拡大していくという目的で企画されました。牧野組合の協力を得て準備された草原のど真ん中という絶好のロケーションで、阿蘇地域の農家が提供する「あか牛」や地元野菜の魅力を五感で味わうことのできるゼいたくなイベントとなり、今後の展開が期待されます。



KIRIN "KIZUNA" KUMAMOTO DAYORI

キリン 紺 熊本だより

2018.June Vol.06



キリンビール株式会社熊本支社では、今年4月に熊本城大天守の鯱（しゃちほこ）が復旧したことを記念し、5月24日より「一番搾りよみがえれ！熊本城」デザイン缶・びんを発売しています。今後、両商品の売り上げ1本につき1円が熊本城の災害復旧に活用されます。

熊本の復興を応援！「一番搾りよみがえれ！」

デザイン缶・びん発売を通じて熊本城のすばらしさを発信

キリングループでは、2011年4月の熊本地震発生以降、「復興応援キリン紺プロジェクト」熊本支援事業を展開。熊本市では、熊本城の復旧と中心市街地活性化支援に対して、継続的な支援を続けています。

そうした支援の一環として、「一番搾りよみがえれ！熊本城」

缶・びんには、それぞれ熊本城としゃちほこをイラストで表現しており、缶は九州限定、びんは熊本限定で販売しています。

発売に先立ち、4月9日には、

熊本城桜の馬場城彩苑（熊本城ミュージアムわくわく座）2階にて記者発表会を実施しました。席上では、熊本地震の復興支援に取り組む日本財團の支援のもと進められた熊本城天守閣のしゃちほこ製作を担当した藤本鬼瓦代表で、鬼師の藤本康祐様があいさつ。製作当時の苦労について話をされたほか、「自分の作ったしゃちほこが、熊本城復旧のシンボルとしてラベルに描かれ、これほど嬉しいことはない」と謝辞を述べられました。

また、4月28日には、すでに設置されていた東側の1体に続き、復旧工事が進められている熊本城大天守西側に、しゃちほこを設置するセレモニーが多数の市民が見守る中、二の丸広場で開かれました。セレモニーには、大西一史熊本市長も臨席。あいさつでは、「しゃちほこの設置が、熊本の復興の節目に

なります。これを契機に熊本をさらに元気にし、復興に向けて邁進していきたい。」と改めて復興へ

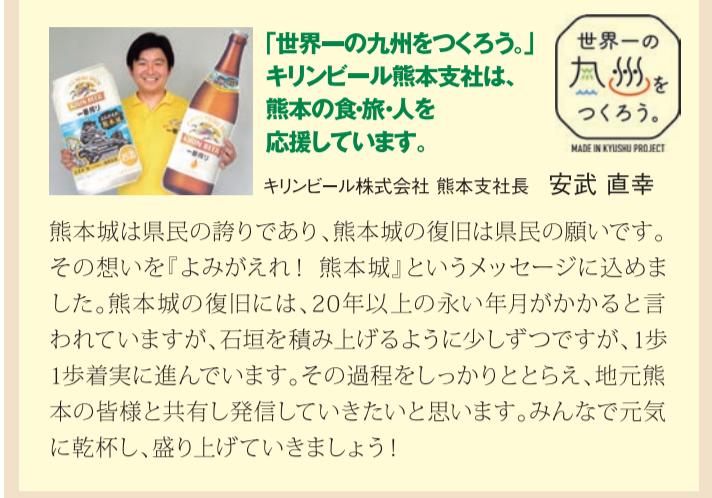


今回の「一番搾りよみがえれ！熊本城」デザイン缶・びんでも、商品の販売を通して熊本のシンボルである熊本城のすばらしさを内外に発信しています。



STOP! 未成年者飲酒・飲酒運転。お酒は楽しく適量で。

妊娠中・授乳期の飲酒はやめましょう。あきびんはお取扱店へ。のんだあとはリサイクル。



しゃちほこ設置セレモニーにて
藤本康祐 熊本鬼瓦代表、並川順平 日本財團常務理事、
大西一史 熊本市長、安武直幸 キリンビール熊本支社長
※写真左より



しゃちほこ設置が完了した大天守最上階に掲げられた感謝のメッセージ



この商品の1本につき1円が、熊本地震による熊本城の災害復旧に活用されます。



キリングループは、熊本地震の被災地の復興を応援しています。



笑顔で結ぶ。人を、日本を。

〈2018年1月～5月の取り組みをご紹介いたします。〉



本協定は、3者が連携し、中心市街地に関する若手事業家などの人材育成やネットワーク構築などの事業活動を推進することで、中心市街地の持続的な発展に資することを目的とするものです。「熊本城・城下町」「にぎわい・観光」「食・文化」の3つのテーマを柱に、3者が持つビジョン・資源・ノウハウなどを掛け合わせ、未来の熊本中心市街地を担う若手人材の育成やネットワーク構築の場「くまもと未来人材育成塾（仮称）」の設立をはじめ、その他、横断的な取り組みを検討・展開してまいります。

左から、大西一史 熊本市長、尾形武寿 日本財団理事長
野村隆治 キリン(株)執行役員CSV戦略部長

「復興応援 キリン絆プロジェクト」熊本支援

キリングループが掲げる「絆を育む」をテーマに、**食産業復興支援** **地域の活性化支援** **心と身体の元気サポート**の3つの幹で地域に寄り添い、熊本の復興から未来へつながる活動の支援を推進しています。また、熊本県の「平成28年熊本地震からの復旧・復興プラン」とも連携し、行政、民間企業、公益財団法人が一体となり、より包括的かつきめ細やかな支援を実現することを目指しています。

笑顔で結ぶ。人を、日本を。

〈2018年1月～5月の取り組みをご紹介いたします。〉



本協定は、3者が連携し、中心市街地に関する若手事業家などの人材育成やネットワーク構築などの事業活動を推進することで、中心市街地の持続的な発展に資することを目的とするものです。「熊本城・城下町」「にぎわい・観光」「食・文化」の3つのテーマを柱に、3者が持つビジョン・資源・ノウハウなどを掛け合わせ、未来の熊本中心市街地を担う若手人材の育成やネットワーク構築の場「くまもと未来人材育成塾（仮称）」の設立をはじめ、その他、横断的な取り組みを検討・展開してまいります。

左から、大西一史 熊本市長、尾形武寿 日本財団理事長
野村隆治 キリン(株)執行役員CSV戦略部長

くまもと・まち魅力向上協議会

2/23

熊本中心市街地の若手メンバーが取り組む「くまもと・まち魅力向上プロジェクト」を応援

熊本の人々に「まち」と呼ばれ親しまれている中心市街地（新市街・下通り・上通り）の30～40代の若手メンバーが中心となって、「ひとそだて」「とこづくり」「ことおこし」「エリアマネジメント」の4つの柱で活動を展開し、持続可能なプロジェクトしていくことを目指します。



3/3

“まち”的新たな魅力を創造する「ことおこし」「くまもと空中図書館“まちピチ”」を開催

中心市街地の下通アーケード内にある下通NSビル（COCOSA）5階のテラスを会場に開催。手作りの移動式本棚を設置、市立図書館から貸与された本が並べられ、訪れる親子連れなどが楽しそうに本を選び、談笑する姿が見られました。同図書館のボランティアによる紙芝居や読み聞かせも実施しました。



阿蘇山上・草千里観光推進復興グループ

4/5

～阿蘇火口から世界へ！～「歴史と文化素材を活かした阿蘇カルチャーツーリズム構築プロジェクト」を応援

火山と文化を切り口とした新たなツーリズムの創出を目指し、阿蘇山の神祕性や歴史性、そこに育まれた阿蘇の人々の文化を、訪れる人に楽しく伝え、共感を得るツーリズムとして、男女の縁結びを唱える「写経ケ橋ツアーア」「阿蘇三十三ヶ所靈場巡りツアーア」「草千里プレミアムランチ」の開発などに取り組みます。



5/11

「阿蘇カルチャーツーリズム」
阿蘇山上・写経ケ橋 モニターツアーを開催

プロジェクトの第1弾として、行政関係者や旅行代理店など約30人を招いて阿蘇山上・写経ケ橋のモニターツアーを開催。阿蘇山西巖殿寺→阿蘇火山博物館→古坊中→西巖殿寺奥の院・写経ケ橋案内→阿蘇中岳火口というコースで実施。西巖殿寺鷺岡住職らと協働で、阿蘇山の歴史や文化の新しいツアーコースを目指します。



甲佐町 食による復興協議会

2/25

甲佐のおいしいニラ料理を発信する
「甲佐ニラパワー EXPO 2018」を応援

熊本県の「郷土の食材開発モデル事業」。ニラでつながる甲佐町元気プロジェクトで甲佐町特産のニラを使った料理を一堂に味わえるイベントを開催。ニラが入ったメンチカツ「にらメンチ」やうどんなどの他、新開発のラー油「虎穴ニラ(茎)ずんば」と、麺にニラを練り込んだ「虎穴ニラずんばラーメン」もたいへん好評でした。



にしはら福幸協議会

3/16

「西原村 農業から土・水・風を感じようプロジェクト」
落花生バター試作完成試食会を開催

落花生バターは、西原村のファン作りならびに、認知度向上を目指して開発が進められ、西原産の落花生を原料に、天草産の天然塩を使って仕上げたもので、数回にわたってのテストを行い、この日の試作完成試食会を迎めました。その後、4月21日には商品完成の発表会を行い、売れ行きも好調です。



南阿蘇村環境保全農業推進協議会

3/23

南阿蘇村特産の「そば」と「あか牛」を使った
新商品「あそのみみのそばさんど」試食会を開催

南阿蘇村では、地震の影響で水稻の作付けができる農地の転換作物として、名産品でもある「そば」の振興が期待されています。若者にも喜ばれる新しいそばの加工品を目指し、東海大学農学部の協力で、「あか牛」と組み合わせたハンバーガー「あそのみみのそばさんど」が誕生。同大学学生による試食会を開催しました。



Topics

4/28 熊本城 「復活!しゃちほこまつり」に協力

熊本のシンボル的存在であり、県民の心のよどごともいえる熊本城は、2019年秋に大天守外観の修復を終え、2021年春ごろには小天守を含む天守閣全体の復旧が完了する見通し。4月7日に、鮎(しゃちほこ)1体が大天守の東側に設置。28日には西側にもう1体が設置され、大西熊本市长らも出席して、二の丸広場でセレモニーを開催。設置を一目ようと集まった市民らに見送られたしゃちほこは、クレーンを使い大天守最上階へ。設置が完了すると、「おうえん ありがとう」と書かれた幕が掲げられ、約1000個の風船が大空を舞いました。



3/21 「2018南阿蘇鉄道復興友好駅伝大会」に協力

「南郷谷はひとつ・南郷谷の大動脈の復活を願い!!」のキャッチフレーズの下、高森駅（スタート）～中松駅（ゴール）間の各駅（5区間9km）を一本の襷でつなぐ大会には、両町村の小中学生や職場有志などの計18チームが参加。あいにくの雨にも関わらず、選手たちは「南阿蘇鉄道の早期復旧」の思いを込めて懸命の力走を見せ、南阿蘇村高森町連合チーム「MAR」が第1回大会を制しました。沿道からも大きな声援が送られ、復興へ向けて住民の一体感が高まるイベントとなりました。閉会式では、表彰を受けた上位3チームに賞品として「キリン 午後の紅茶」が贈られました。



4/8 阿蘇門前町商店街 「お座敷商店街」に協力

熊本地震から2度目の春を迎えた阿蘇市一の宮町の門前町商店街で、春の恒例行事となった「お座敷商店街」が開催。阿蘇神社のお膝元である門前町商店街の賑わいづくりを目的に実施されているもので、今年で8回目。熊本地震で楼門などが倒壊した阿蘇神社の復旧工事も徐々に進む中、商店街一帯のさらなる復興を願うとともに、震災後に取り組んでいる門前町商店街ブランド「ASO MONZEN」のPRも実施。熊本地震と九州北部豪雨災害復興記念グッズとして、門前町と朝倉市がコラボして作ったオリジナル木製トレーも販売されました。



4/15 阿蘇マウンテンバイクパーク オープニングイベント 開催!

阿蘇市では、サイクルツーリズムの推進と、地域の活性化を目的に「阿蘇MTB（マウンテンバイク）パーク」をオープンする運びとなり、式典とイベントを開催。パーク内に完成した2つのコース（自力でペダルを漕がなくとも走行できる「パンプトラック」と、上級者向け「トライアルコース」）を使ったデモンストレーションを実施。阿蘇五岳を望む絶好のロケーションに作られた同施設は、誰もが無料で利用でき、地元の住民の皆様やマウンテンバイク好きの来訪者でにぎわい、地域の活性化につながることが期待されます。



KIRIN "KIZUNA" KUMAMOTO DAYORI

キリン 純 熊本だより

2018.September Vol.07



キリンビール株式会社 熊本支社長 安武 直幸

今年も、「キリン一番搾り」と「キリン午後の紅茶」から、特にイラスト化した「阿蘇の草原に乾杯」デザインを、九州・沖縄限定で発売することができました。生まれ故郷である阿蘇の光景を見るたびに、もっと日本に、世界の多くの方に広めたいと感じます。広大で美しい阿蘇の千年草原は、自然の恵みに加え、地元の方々のたゆまぬ努力によって守られてきた貴重な宝です。「世界一の九州をつくろう」という我々の想いの実現と、熊本地震で被災した草原の保全活動や世界文化遺産への登録を支援するため、今後も、キリングループは、地元の方々と一緒に、熊本ならではの食・旅・人を盛り上げてまいります。

「キリン一番搾り生ビール」(缶350ml・中びん500ml)と「キリン午後の紅茶 おいしい無糖 ベットボトル」(500ml)の「阿蘇の草原に乾杯」デザイン品の第2弾を、九州エリアと沖縄県で8月7日(火)から数量限定で発売中です。

デザイン品の発売は、熊本県と阿蘇郡市7市町村で取り組みを進めている「阿蘇・火山との共生とその文化的景観」をテーマとする世界文化遺産登録の応援の一環。両商品の売り上げ1本につき1円が、熊本地震による被災からの阿蘇の草原再生支援策に活用されます。

昨年10月に続き2回目となる「阿蘇の草原に乾杯」デザインの発売。限定発売される「キリン一番搾り生ビール」と「キリン午後の紅茶 おいしい無糖 ベットボトル」(500ml)の「阿蘇の草原に乾杯」デザインは、阿蘇の雄大な草原をイメージしたイラストに加え、阿蘇の裾野の草原に咲くユウスゲをポイントとして配置。九州のお客様に、阿蘇の素晴らしい自然と、その魅力を発信するデザインとなっています。

デザインのベースとなる写真をご提供いただいたのは前回に引き続き、熊本出身の写真家・エッセイストで、南阿蘇村の葉祥明阿蘇高原絵本美術館館長を務める葉山祥鼎さん。

これまで「一番搾り 熊本に乾杯」「キリン冰結熊本産みかん」「一番搾り よみがえれ! 熊本城デザイン缶・びん」などを発売し、ご好評を博してきました。今後も、地元のお客様と一緒に九州、熊本の「元気」を応援していく活動を継続していきます。

阿蘇の世界文化遺産登録を応援! 「阿蘇の草原に乾杯」デザイン品第2弾を限定発売

公益財団法人 阿蘇グリーンストック

8/6 「世界文化遺産」を目指す阿蘇エリア草原再生プロジェクト
「復興応援 キリン純粋プロジェクト」熊本支援事業 報告会 開催

平成28年12月、熊本地震からの創造的復興に向けて、熊本県、日本財團、キリングループにより締結された「復興応援 キリン純粋プロジェクト」に関する包括支援協定に基づく支援のうち、「世界文化遺産」を目指す阿蘇エリア草原再生プロジェクトでは、阿蘇の草原景観保全に向けた「野焼き再開支援」等を実施し、その報告会が開催されました。

支援を受けた阿蘇市、南阿蘇村、西原村の16牧野の内、9ヶ所で、牧野道の復旧や防火帯整備が完了し野焼きを再開。野焼きは阿蘇の草原景観の保全に直結していることから、世界文化遺産登録を目指す同地域全体の気運醸成につながることが期待されます。



九州限定
発売!!



※中びんは熊本県限定

STOP! 未成年者飲酒・飲酒運転。お酒は楽しく適量で。

妊娠中・授乳期の飲酒はやめましょう。あきびんはお取扱店へ。のんだあとはリサイクル。



キリンビール 株式会社
熊本支社

キリングループは、熊本地震の被災地の復興を応援しています。

(※今回は、熊本市での取り組みをご紹介いたします。)

4/25

熊本市・キリングループ・日本財団 「熊本地震からの復興の加速と 未来への礎となる担い手の育成」 に関する連携協定を締結



笑顔で結ぶ。人を、日本を。

「熊本城・城下町」「にぎわい・観光」「食・文化」の3つのテーマを連携の柱とし、3者が持つビジョン・資源・ノウハウなどを掛け合わせ、未来の熊本中心市街地を担う若手人材の育成やネットワーク構築の場「くまもと未来人材育成塾(仮称)」の設立をはじめ、その他、横断的な取り組みを検討していきます。

〈熊本地震からの復興の加速と未来への礎となる担い手の育成〉 「くまもと未来人材育成塾(仮)」開催中!

本年5月から12月においては、「くまもと未来人材育成塾(仮称)」の準備期間として、「熊本城を核とした観光戦略」「中心市街地のにぎわいづくり」「新たな観光資源としての食のブランディング」の3つのテーマに関する講演会や勉強会を開催していく予定です。

・第1回(5/22)

静岡県立大学 岩崎邦彦 教授

「地域創生、
まちづくりの基本となるブランド戦略の実践について」



・第2回(7/18)

一般社団法人エリア・イノベーション・アライアンス
代表理事 木下齊氏

「熊本市の過去を省みつつ、未来を展望する。
~都市として目指す成熟的発展とは~」



・第3回(8/24)

ETC教育旅行コンサルタント

代表 伊原和彦 氏

「熊本市の観光の課題と今後の方向性について」



熊本中心市街地の若手メンバーが取り組む 「くまもと・まち魅力向上プロジェクト」による 6月「まちなか福祉月間+one」開催!

くまもと・まち魅力向上協議会では「まちに代々続く熊本らしさを世代間わざ分かち合い、多様な人々が分け隔てなく交流できる場としてのまちの魅力を創造し、発信していく」とのビジョンを掲げ、活動を展開。その一つとして、6月を「まちなか福祉月間」と位置づけ、中心市街地を訪れる人々に、「障がいを持つ人もそうでない人も安心して訪れることができるやさしいまち」について考えるきっかけ作りとなる取り組みを行いました。

・「考え方+one」(6/2)

SLOW LABEL、栗栖良依さん 講演会



・「感じよう+one」(6/9)

障害スポーツ体験、アールブリュット(障がいのある人々の芸術活動)作品展示、車いす体験などを実施



・「楽しもう+one」(6/23)

知的障がい者施設「しょうぶ学園」の音楽パフォーマンス集団「otto & orabu」による生ライブ、熊本市内の障がい者施設で作られた野菜や雑貨などを一堂に集めた「おとなりマルシェα」を開催



Topics

6/8-9 熊本城大天守「鯱(しゃちほこ)」復旧記念 『復興応援ビアガーデン in 熊本城 城彩苑』を開催

熊本地震によって大きな被害を受けた熊本城。再建が進む中、4月末には、大天守の屋根に「鯱(しゃちほこ)」が設置されました。キリンビールでは、「鯱(しゃちほこ)」の復旧を記念し、5月24日に熊本城と鯱(しゃちほこ)がデザインされた「キリン一番搾り『よみがえれ!熊本城』」を発売。6月8日・9日には、熊本城に隣接する城彩苑を会場に、復興応援ビアガーデンを開催。「キリン一番搾り『よみがえれ!熊本城』」デザイン缶の販売と合わせ、城彩苑内の各テナントから熊本ならではの食材を使った“ビールに合うおつまみ”も提供され、イベントには「熊本城おもてなし武将隊」も参加。両日とも多くの来場者で賑わいました。



6/15-17 6/22-24 キリングループ、南阿蘇村等で「キリン『絆』ボランティア」を実施

キリングループ従業員71名が参加。1日目は、被害の大きかった熊本城の視察と城彩苑にて被災・復興状況の説明を受け、2日目は、高森駅から南阿蘇鉄道に乗車し、「キリン午後の紅茶」のCM舞台でもある見晴台駅を見学。その後、長陽駅～加勢駅間で除草・清掃活動を行い、現在も営業再開できていない地獄温泉・垂玉温泉を視察。夜は、南阿蘇村観光復興プロジェクト交流協議会の「南阿蘇未来会議」メンバーとの意見交換会を開催し、同会議が企画した「『南阿蘇の星空と草原』をつなぐ宿(そら)ツーリズム」を体験。最終日は、甚大な被害を受けた東海大学エリアや阿蘇山火口、阿蘇神社・門前町商店街を視察しました。



8/10 ~阿蘇の千年草原を体感!あか牛の草原バーベキューで乾杯しよう!~ 「阿蘇の草原を体感するモニター特別プログラム」開催

阿蘇エリアの「地域の活性化支援」の一環として、く阿蘇の千年草原について学習し、通常では体験できない草原の中での「あか牛」のバーベキューを楽しむツアーの開発を目指し、「阿蘇の草原を体感するモニター特別プログラム」を開催。畜産業に携わる方々、あか牛の販売に携わる方々、旅行業者の方々、観光協会・行政の方々等19名が参加。今後のツアー開発に向けて、アンケート調査や意見交換を行い、ツアーの実現を目指します。

<モニター特別プログラムの内容>
①「阿蘇千年草原」についての学習プログラム
(阿蘇グリーンストック主催)
②「阿蘇千年草原バーベキュー」
(阿蘇千年草原コンソーシアム主催)
※特に許可を得た牧野草原でのバーベキュー



②「阿蘇千年草原バーベキュー」

